※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)実践日本史	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史」（山川出版社）						
副教材等	「図説　日本史通覧」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去と現在との対話から未来が創造されることを認識する。
・様々な歴史的事象について様々な立場から考え、「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とし、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

（１）我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
（２）我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
（３）我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の歴史の展開に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	我が国の歴史の展開に関する諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	原始・古代	・原始・古代までをテーマとし、正誤問題・史料/資料読解等の問題演習を行う。	a: 国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。また、貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 b: 原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取ることができる。 c:原始・古代の歴史・文化・社会について、興味関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	中世	・中世をテーマとし、正誤問題・史料/資料読解等の問題演習を行う。	a:武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。また、武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。 b:中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取ることができる。 c:中世の歴史・文化・社会について、興味関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

二学期	近世	・近世をテーマとし、正誤問題・史料/資料読解等の問題演習を行う。	a:織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。また、法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。さらに、近世における産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文 化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。 b:近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取ることができる。 c:近世の歴史・文化・社会について、興味関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

	近代	・近代をテーマとし、正誤問題・史料/資料読解等の問題演習を行う。	a: 明治維新、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。また、文明開化の風潮、産業革命の展開、学問の発展や教育制度の拡充などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解している。さらに、恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。 b:近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取ることができる。 c:近代の歴史・文化・社会について、興味関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

三学期	現代	・現代をテーマとし、正誤問題・史料/資料読解等の問題演習を行う。	a:占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解すること b:現代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取ることができる。 c:現代の歴史・文化・社会について、興味関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	提出物	提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度